



草木が芽吹き始め、春の息吹を感じる季節となり、すみれ乳児院も季節の移ろいと共に新しい年度をむかえました。

日頃よりすみれ乳児院の運営にご理解とご協力をいただいております皆さまに、心より感謝申し上げます。現在、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。少子化が進む一方で、児童相談所に寄せられる虐待相談件数は増加しており、支援を必要とする子どもや家庭は決して少なくありません。子育ての孤立や経済的な不安、地域のつながりの希薄さなど、様々な背景の中で、子どもたちの命と成長を社会全体で支えていくことの重要性がますます高まっています。

そのような中で乳児院は、子どもたちの命を守り、安心して育つことのできる最初の場所として大きな役割を担っています。子ども一人ひとりに丁寧に寄り添い、愛着関係を育みながら、健やかな成長を支えていくことが私たち社会福祉に携わる者の使命です。

また、近年は子どもができるかぎり家庭的な環境の中で育つことが重要視されており、里親制度の推進や里親家庭への支援も重要な取り組みになり、2025年度4月、旭区に開設した東部里親支援センターmikataもその機能を十分に発揮しています。

本年度は、こうした社会的養護の変化をふまえながら、当院としても新たな事業の充実・拡充の為、乳児院に隣接する「やまぼうし」を活用し、乳児院や関係機関との連携を大切にしながら、子どもたちの将来につながる支援をすすめていきたいと考えています。

子どもたちの笑顔はすべての人をしあわせに導きます。子どもを支えるのは施設だけでなく地域や社会の力が欠かせません。これからも皆様と共に子どもたちの未来を支えていけるよう職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

すみれ乳児院 施設長 菅野

巣立つ子へ…



大好きなTくんがやって来たのは新生児の頃でした。大人を呼びたい時には「ふえーん」と一泣きするものの、すぐに諦めて指吸い…。そしてそのまま眠ってしまうTくん。そんなTくんのおっとりとした姿を今でも鮮明に覚えています。そこからすくすくと成長し、3歳10ヶ月になりました。おしゃべりがとっても上手になり、「Tくん〇〇できたよ!」と自信に満ち溢れた表情でお話してくれます。

そんなTくんは、次の施設へのお引っ越しが決まりました。これから先、楽しいことや頑張らないといけないこと、色々な出来事があるでしょう。

でも、自分を信じる力を持っているTくんならきっと大丈夫だと思います。一方で、大人の期待通りに振る舞おうとする一面があることも知っています。遠慮せず、我慢せず、ありのままの自分でいていいんだよ。

Tくんの大切な3年10ヶ月を近くで見守ることができて、本当に幸せでした。

ありがとう。ずっと大好きだよ。

担当職員 河野



子どもたちの様子

たんぽぽホームでは、お部屋の中をゴロゴロと寝返りをして動き、周りをキョロキョロと見渡して自分のお気に入りの玩具を探します。手に取ることができると嬉しそうに笑い、音を鳴らしたり、噛んだりしながら遊んでいます。こういった遊びは赤ちゃんが世界を探索する第一歩です。これからも日々のいろいろな成長を見逃さずに見守りたいです。



ひまわりホームの子どもたちの間で流行っているのは、ウルトラマンやシナモンロールなどの好きなキャラクターになりきることです。毎日のように「今はなにになりきっているの?」と聞くとポーズを取りながら「今、ウルトラマンやねん」などと教えてくれます。子どもたちは将来どんなことが好きになるのだろうと、これからのことを考えると楽しみです。

きいろグループ 田平

退職職員・異動職員挨拶

2年前の2024年度から、すみれ乳児院でお世話になっていましたが、このたび2026年度より法人内のくるみ乳児院へ異動することとなりました。わずか2年ではありましたが、とても充実した時間を過ごさせていただきました。

大学を卒業してから児童養護施設 高鷲学園へ就職し、今年度末で20年という節目を迎えます。その区切りの時期をすみれ乳児院で迎えられたことを、心よりうれしく思っています。

すみれ乳児院では、本当にかわいい子どもたちと個性豊かな職員に囲まれ、あたたかい環境の中で仕事をさせていただきました。

今後は、お隣のくるみ乳児院にて、新たな出会いや経験を楽しみにしながら、子どもたちやご家族、そして職員のために、引き続き精一杯努めてまいります。これまで本当にありがとうございました。 野本



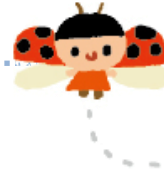
2023年度に入職し、3年という短い期間でしたがこの度退職することとなりました。

可愛い子どもたちの笑顔に囲まれ、子どもたちの日々の成長に触れながらかけがえのない時間を過ごすことができました。すみれ乳児院での経験は私にとって大切な思い出になっています。関わってくださった皆さまに心より感謝しています。子どもたちのこれからの毎日が笑顔であられるものでありますよう、願っています。 辻本





異動職員挨拶



このたび、すみれ乳児院の副施設長に着任しました梅本裕子です。これまで、すみれ保育園で26年間、東桃谷幼児の園で4年間と保育の現場で勤務してきました。乳児院の事業や支援について学びながら、保育園での保育や子育て支援の経験を、乳児院の子どもたちと保護者の方々、地域の子育て中のみなさんへの支援に活かしていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

副施設長 梅本



こどもたちや保護者のみなさま、そして地域の子育てにお役に立てるよう福祉の根源である「幸せ」を忘れず進めていきます。子育てのことで「相談したいな」と思ったときに、乳児院のことを思い出して頂けるよう、くるみ乳児院とも協力していきます。よろしくお願いいたします。

副施設長 藤川



新任職員挨拶



すみれ乳児院では、実習をきっかけに学生アルバイトとして1年ほど働かせていただきました。そして、4月からは正規職員として子どもたちの生活や成長などを近くで見守り、サポートしたいと思い入職しました。子どもたちが笑顔あふれる毎日を送れるように、寄り添うことを大切にしながら、子どもたちや保護者の方たちと関わっていきたくです。

保育士 遠山

去年より非常勤職員の看護師として勤務してきました。かわいい子どもたちとずっと深く関わっていきたくという思いから、今回正規職員として勤務することになりました。子どもたちの日々の成長をそばで見守りながら、看護師として何ができるのかを考え、些細な変化にも気付いて対応できるように努めますのでよろしくお願いいたします。

看護師 長谷川



すみれ乳児院で1年ほどアルバイトをさせていただいて、子どもとの関わり方をたくさん学ばせていただきました。これからはアルバイトの経験を活かしながら、専門的なことより深く学び、実践し子どもと同じ目線に立てる保育士を目指して頑張っていきたいと思えます。未熟ではありますが、よろしくお願いいたします。

保育士 木本

家族の影響で幼い頃から児童発達支援施設や放課後等デイサービスに関わりがあり、乳幼児期という大切な時間をともに過ごし、成長を支えていきたいという思いから入職いたしました。子どもたちの視点に立ち、信頼関係を大切にしていきたいと考えております。未熟ではございますが、どうぞよろしくお願いいたします。

保育士 清



いただきます～す！苺ヨーグルトムース

(フレッシュ苺の酸味と甘みのバランスが抜群なおやつです☆)



【材料】大人なら2人分/子どもだと4人分

- ・苺 1/2パック
- ・砂糖 40g
- ・生クリーム 100g
- プレーンヨーグルト 70～80g
- ・水 20cc
- ・ゼラチン 7g
- ・氷 適量 (冷やす用)

【作り方】

- ① 苺は飾り用に必要分を取っておき、残りはピューレ状にする。ゼラチンは水(分量外)でふやかしておく。
- ② 生クリームに砂糖を加え、ツノが立つまでホイップする。(冷蔵庫で保管しておく)
- ③ 水・牛乳を鍋に入れ、85℃まで温める。火を止めて、①のふやかしたゼラチンを加えて溶かす。目の細かいザルで漉し、粗熱を取る。
- ④ ボウルを2つ用意し、間に氷を入れてボウルを2段重ねる。上のボウルにヨーグルトと①の苺ピューレ、②を入れて電動泡立て器で混ぜ合わせる。
- ⑤ ④に③を少しずつ加え混ぜ合わせる。全て加えたら電動泡立て器で泡立てながら固めていく。ふわふわに泡立ったら器に入れ、冷蔵庫で冷やし固める。
- ⑥ 固まったら、苺を飾って出来上がり！

★器のサイズは大皿でも一人分ずつでもOK♪

★プレーンヨーグルトであれば無糖でなくても作れます(ヨーグルトの甘み分ムースに甘みがプラスされます)



後援会からのお願い

すみれ乳児院が所属する「社会福祉法人 大阪福祉事業財団」は、大阪府下に24の福祉施設を持っています。大阪福祉事業財団後援会では、各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす取り組みを進めています。

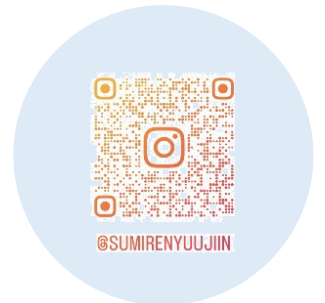
後援会では皆様の物心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。

*個人会員 1口 3,000円

*団体会員 1口 10,000円

既に入会して頂いている方は、2026年度の更新の手続きを宜しくお願いいたします。

大阪福祉事業財団を応援して下さる方は、すみれ乳児院(06-6958-6066)まで。



『すみれ乳児院ホームページ』『すみれ乳児院Instagram』

これからの3カ月の行事予定

4月 特になし

5月 昼食パーティー

6月 ももいろグループ園外保育

【編集後記】

ようやく暖かくなり春の訪れを喜んでいるのも束の間、それと同じく花粉もやってくる季節。花粉症の方にとっては悩ましい…。

春の気持ち良い暖かさは去ってほしくないが、花粉は早く去ってほしいものです。

(大西)

